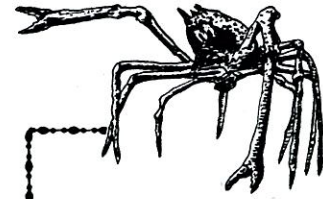
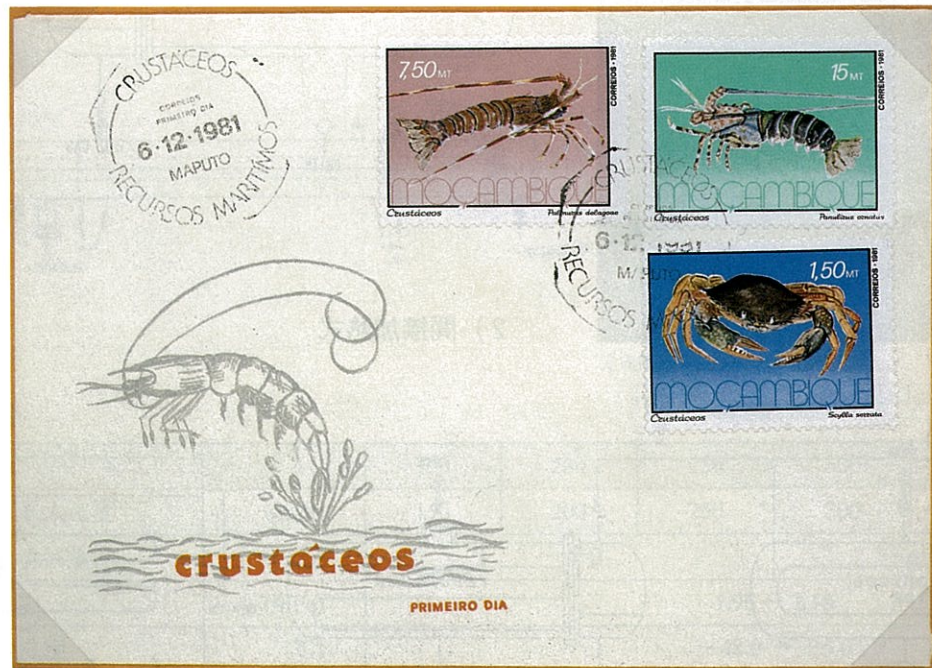


ノコギリ ガザミ

分類：十脚目 爬行亜目 短尾区 ワタリガニ科 ガザミ亜科
 学名：Scylla serrata
 英名：

相模湾以南、沖縄、中国、フィリピン、オーストラリアからハワイ諸島、及びアフリカ東岸にかけての各地の内湾の河口附近の泥底に生息する。ガザミ類の中で最大種で甲長135mm、甲幅200mm位に達する。甲面にH字型の溝が認められるが平滑で、体全体が暗青緑色、鉗脚は頗る強大で右側の方が大きく指の部分が幼生では橙紅色、老成したものは褐色になる。甲及び鉗脚共に無毛であるが、細い歩脚の前節と指節及び第4歩脚の泳脚の各節の前・後縁には褐色の毛が密生する。肉量豊富で賞味珍重される。



タカアシガニ

分類：十脚目 爬行亜目 短尾区 クモガニ科
 学名：Macrocheira kaempferi
 英名：

岩手から九州にかけての太平洋岸の水深50~300mに生息する。甲の大きさは350mm内外なるも、雄の鉗脚は甲の長さの4~5倍あって両方広げると3mに達し、甲殻類のみならず全節足動物の中でも最大種である。雌の鉗脚は歩脚よりも遙かに短い、鉗脚は甲の背面にまで曲げられる程、自在に出来ている。甲は西洋梨型で甲面は可成りの膨みが見られ、一面にイボ状の突起がある。海底の王者として形が大きく見栄えがするので、水族館、博物館共に人気のあるものの一つで外国では“日本の巨大なるカニ”と銘打って展示されている。鉗脚、歩脚共に大きさの割に肉が少なく美味しくない。底刺網や底曳網の外道として漁獲される。



ノコギリガニ *Schizophrys aspera*

ノコギリガニの一種
Sch. forceps

コノハガニ *Hueniaproteus* 左♂ 右♀



タカアシガニ